



区・自治会 加入促進条例の制定



会派 きずな ● 森 すなお 議員

問 草津線複線化実現は？

答 複線化の目的は、

市民の利便性の向上や地域の活性化です。

問 複線化の見通しは、

答 実現は相当厳しい。

問 複線化が進まない

原因は、

答 乗降客数が少ない

ことです。

問 乗降客数を増やす

ための新たな対策は、

答 定住人口を増やす

ことです。

問 市長の具体策は、

答 駅周辺の土地利用

を見直し、住宅開発で

定住人口を増やします。

区自治会加入促進条例

加入状況は、

答 全体は58・77%で、

減少傾向です。

問 区自治会の役割は、

答 美化活動や行政と

の連絡調整、まちづく

りの活動です。

問 区自治会の役割の

根拠となる規定は、

答 規定はありません。

問 現状を踏まえて、

市は、加入促進の対策

が必要では、

答 周知啓発による加

入促進が必要です。

問 その具対策は、

答 住民に関心を持つ

てもらい参画してもら

うことです。

問 様々な要因で区自

治会の加入率が減少す

る中で、対策の一つと

して、区自治会の役割

や住民の参画を規定し

た区自治会加入促進条

例の制定が必要では、

答 条例制定は加入促

進対策として根拠が明

確になることから、地

域代表者会議で協議し

て進めます。

問 市長の見解は、

答 区自治会の加入率

減少には様々な原因が

あるが、条例制定によ

り改善されるのなら、

地域代表者会議の皆様

にご理解をいただいで

進めたいと思います。

生田市政の4年間の歩みを 振り返り



無会派 ● 加藤 貞一郎 議員

問 公約された取組み

の結果と課題について、

答 「子育て・福祉政

策」については、概ね

進められたと考えます。

また、「安心安全のま

ちづくり」については、

一定の方向性を示させ

ていただいたと思つて

います。「インフラ整

備」については、残任

期間中引き続き、国や

県の政治力に粘り強く

訴えていきます。

問 公約された庁舎整

備については、一旦立

ち止まり検討するとさ

れてきたが、いつ市民

にその方向性を示すの

か。

答 タウンミーティン

グを開催し、多くの皆

様のご意見をお聞かせ

いただき、総合的に判

断して任期中に方向性

を示します。

問 西庁舎等公共施設

の統廃合、複合化につ

いては、庁舎整備基本

計画の中で議論をして

いくと解してよいか。

答 庁舎整備計画の中

で市民の意見を聞き、

慎重に進めていきます。

問 「小規模多機能自

治の確立」への道のり

は市民の心を動かす最

も難しい施策であり時

間を要する行政改革で

あることから具体的な

実施に向けては、「市

民への説明」から「市民

の理解」というところ

に辿り着いてはじめて

動き出すと考えるが、

現在執行部が把握して

いる課題に対してどの

ような準備が必要と考

えますか。

答 地域事業への関わ

りの推進や地域での役

員などの担い手不足に

対する原因を探索し、

これらに対する解決策

への模索等が必要と考

え、区・自治会やまち

づくり協議会、それぞ

れの活動の意義や住民

自治の必要性について

丁寧の説明していきま

す。